



TOEI ANIMATION

Since 1956



第68期 中間事業報告書

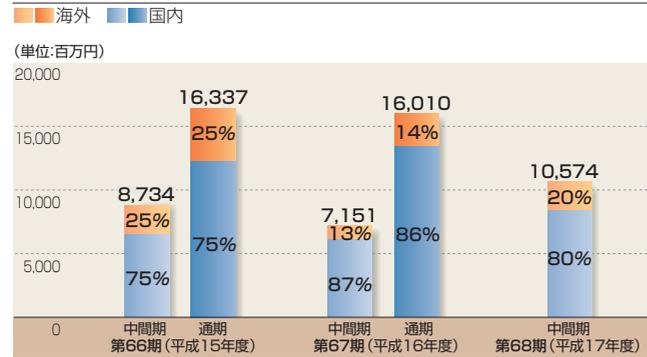
[平成17年4月1日~平成17年9月30日]

東映アニメーション株式会社

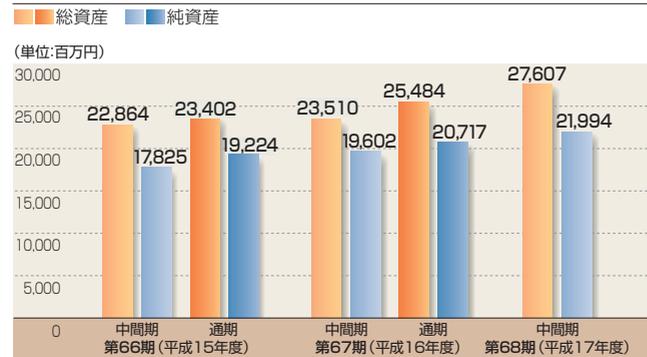
業績の推移

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	中間(当期) 純利益 (百万円)	1株当たり 中間(当期)純利益 (円)	1株当たり 利益配当金 (円)	資本金 (百万円)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	1株当たり 純資産 (円)
第67期中間期 H.16.4.1~H.16.9.30	7,151	1,040	573	81.99	—	2,867	23,510	19,602	2,800.41
第67期 H.16.4.1~H.17.3.31	16,010	2,105	1,213	167.63	30.00	2,867	25,484	20,717	2,953.96
第68期中間期 H.17.4.1~H.17.9.30	10,574	2,274	1,390	198.65	—	2,867	27,607	21,994	3,142.13

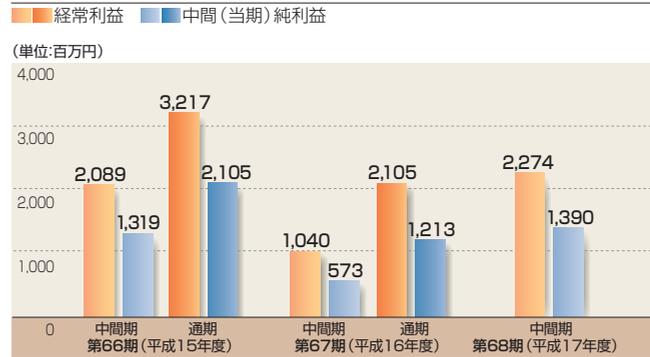
売上高の推移



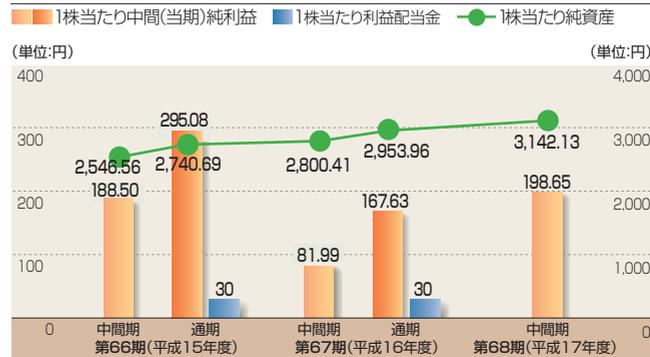
総資産・純資産の推移



経常利益・中間(当期)純利益の推移



1株当たり中間(当期)純利益・利益配当金・純資産の推移



社会の変化に対応して、経営を革新する

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げますとともに、平素のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当中間期の業績は、国内外において各事業が好調に推移したことにより、売上・利益ともに過去最高の業績となりました。通期の業績につきましても、全社一丸となって各事業の収益を拡大するべく邁進していきます。

今、アニメーション業界は、大きな変化の時代を迎えております。それは「少子化」、「ターゲットの細分化」、「ボーダレス化」、「グローバル化」です。

「少子化」に対しては、当社が得意とする子ども市場においてさらに強固なシェアの維持・拡大を図る一方で、大きな市場として成長したヤング層向けに、2005年2月に劇場公開し大ヒットした「AIR」のような作品にも積極的に取り組んでいきます。

また、「ターゲットの細分化」に対しては、年齢・性別・趣向など、各ターゲットに向けたきめ細かな作品製作やキャラクター展開をする一方で、テレビ・雑誌・

ネットといった各メディアの連携を密にし、露出を多くしていきます。

そして、業界内における事業領域の「ボーダレス化」や新規参入における「ボーダレス化」に対しては、クリエイターの増強や製作体制の再構築など、当社が最も得意とする企画・製作力にさらに磨きをかけ、製作会社としての存在意義を今以上に確固たるものにする一方で、経営基盤の強化として導入した新基幹システムSAPによる情報をフルに活用して、これまで以上に展開力を高めていきます。

さらに、世界的な人気の高まりによる「グローバル化」に対しては、平成16年度にアメリカとフランスに現地法人を設立し、日本、香港現地法人(平成9年設立)の世界4拠点による強力なグローバルネットワークを築きあげました。今後は、作品の戦略的なグローバル展開を進めるとともに、海外の大手企業との合作・提携も視野に入れた、新しいビジネスモデルの構築に取り組んでいきます。

当社は来年50周年を迎えます。次の50年を見据え、そして真のグローバル



代表取締役社長 TAKAHASHI HIROSHI 高橋 浩
代表取締役会長 TOMARI TSUTOMU 泊 懋

アニメーションカンパニーを目指して、このような社会の変化に迅速かつ的確に対応し、経営を革新していきます。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

当 中 間 期 の 概 況

当中間会計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善し、個人消費も増加しているなど、景気は緩やかに回復を続けてきました。

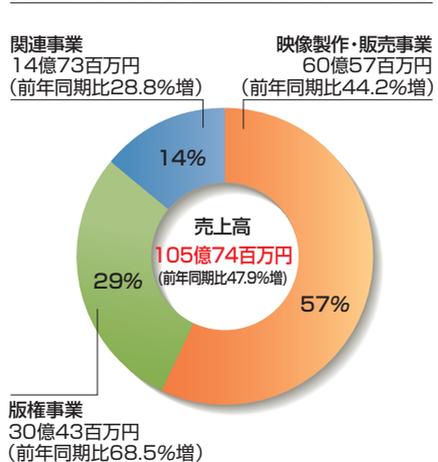
当社を取り巻く事業環境におきましては、テレビの視聴率においては依然として厳しい状況が続いている一方で、DVDやインターネット、モバイルといったデジタルメディアにおけるアニメーションへの注目度は依然として高いものがあります。またアニメーション業界における海外の企業との提携・合作や、関連業界における合併・提携など、業界内外に新たな動きが出てきております。

こうしたなか、当社は国内で「ふたりはプリキュアMaxHeart」、「ワンピース」、「金色のガッシュベル!!」、「ドラゴンボール」、海外で「ドラゴンボール」、「ワンピース」、「金色のガッシュベル!!」を主としたテレビ・映画・DVD・インターネットなどへの映像製作・販売事業や、キャラクター商品などの著作権事業、商品販売・キャラクターショーなどの関連事業を戦略的に事業展開いたしました。この結果、当中間会計期間の売上高は105億74百万円(前年同期比47.9%増)、経常利益は22億74百万円(前年同期比118.6%増)、当中間純利益は13億90百万円(前年同期比142.3%増)となりました。

事業セグメント別売上高構成比の推移



第68期中間期 事業セグメント別売上高構成比



映像製作・販売事業

アニメーションを製作し、国内外のTV・劇場・ビデオ・DVDなどで放映・公開・販売

劇場アニメ部門では、3月に「ワンピース THE MOVIE オマツリ男爵と秘密の島」、4月に「映画 ふたりはプリキュアMaxHeart」、8月に「劇場版 金色のガッシュベル!!メカバルカンの来襲」を公開し、前中間会計期間に比べ公開作品数が増加したことに加え、当社が幹事会社として公開した「プリキュア」の興行成績が好調だったため、大幅な増収となりました。

テレビアニメ部門では、新作テレビシリーズが「ワンピース」、「金色のガッシュベル!!」、「ポポボー・ボーボボ」、「冒険王ビト」、「ふたりはプリキュアMaxHeart」の週5本と、前中間会計期間の4本に比べ多かったため、大幅な増収となりました。

パッケージソフト部門では、新作で「ワンピース」や「AIR」など、ライブラリー作品で「ドラゴンボールGT」や「スラムダンク」などを展開し、中でも「ドラゴンボールGT」のDVD-BOXが約58,500セットの発売となるなど、好調に推移したため、大幅な増収となりました。

海外部門では、「ドラゴンボール」が北米を中心に、「聖闘士星矢」が欧州を中心に好調に稼働し、「ワンピース」、「金色のガッシュベル!!」も前中間会計期間には無かった北米での放送などがあり、大幅な増収となりました。

以上により、当事業の売上高は60億57百万円(前年同期比44.2%増)、営業利益は11億89百万円(前年同期比98.8%増)となりました。



「映画 ふたりはプリキュアMaxHeart」
4/6公開 興収約8.5億円



「ワンピース」
フジテレビ系 日)19:00~
10/30視聴率:13.3%



「金色のガッシュベル!!」
フジテレビ系 日)9:00~
10/30視聴率:9.0%



「ふたりはプリキュアMaxHeart」
ABC・テレビ朝日系 日)8:30~
10/30視聴率:9.3%



「劇場版AIR」
DVD 8/5発売



「ドラゴンボールGT」
DVD-BOX 6/15発売



北米「DRAGON BALL Z」
Cartoon Network 土)19:30~



北米「ONE PIECE」
Cartoon Network 土)21:30~

著作権事業

キャラクターの使用許諾を、国内外のライセンス（メーカーなど）に与え、キャラクター商品（玩具・衣類・文具・食品など）を展開

国内では「ふたりはプリキュアMaxHeart」、「ワンピース」、「金色のガッシュベル!!」、「ドラゴンボール」を中心に展開し、特に「ふたりはプリキュアMaxHeart」の人气が高く、キャラクター商品が好調に稼働したため、大幅な増収となりました。

海外では「ドラゴンボール」が北米のテレビゲームにおける大口の取引があったことなどにより非常に好調に稼働し、また「聖闘士星矢」、「金色のガッシュベル!!」、「ワンピース」を世界各地で展開したため、大幅な増収となりました。

以上により、当事業の売上高は30億43百

万円(前年同期比68.5%増)、営業利益は15億25百万円(前年同期比89.4%増)となりました。



「ふたりはプリキュアMaxHeart」
ハートフルコミュニケーション62万個、
タッチコミュニケーション37万個突破



「ドラゴンボールZ」
プレステーション2用ソフト
「ドラゴンボールZ Sparking!!」

関連事業

キャラクター商品の販売、キャラクターショーなどのイベントの企画・運営、クリエイター養成機関「東映アニメーション研究所」の運営

商品販売部門では、「ふたりはプリキュアMaxHeart」が好調に稼働したため、大幅な増収となりました。イベント部門では、「ふたりはプリキュアMaxHeart」の催事が好調を持続したため大幅な増収となりました。教育部門では「東映アニメーション研究所」の規模縮小にともない大幅な減収となりました。

以上により、当事業の売上高は14億73百万円(前年同期比28.8%増)、営業損失は1百

万円(前中間会計期間は67百万円の営業損失)となりました。



ふたりはプリキュアMaxHeart
ワゴンショップ



ふたりはプリキュアMaxHeartイベント
「マーブルファンタジー」

★大ヒット中!★

ふたりはプリキュア

～作品に見る東映アニメーションの事業戦略～



ふたりはプリキュアとは

★ 作品概要 ★

「ふたりはプリキュア」は当社のオリジナル作品として平成16年2月に放送を開始しました。主人公の女の子が変身して闇の支配者と戦うアクションヒロインというコンセプトが、女の子を中心に受け入れられ大人気作品となり、4-6歳の女の子を対象とした視聴率調査で62.5%という驚異的な視聴率を記録しました。作品の人気の高さにくわえて、東京国際アニメフェアのアニメアワードにて優秀作品賞を受賞するなど品質においても高い評価を得ています。現在はシリーズ2年目の「ふたりはプリキュアMaxHeart」が大人気放送中です。



さまざまな商品へ 商品展開

おもちゃ・グッズをはじめ、
さまざまな商品へ展開しています。

放送開始直後からの爆発的なプリキュア人気は、すぐに商品展開にも表れました。関連商品が次々と発売され、中でもメイン商品は売切れ店が続出する大ヒット商品となりました。その勢いは2年目に入ってさらに拡大し、メイン商品の「ハートフルコミュニケーション」は前年を上回る実績を上げています。また、イベント会場やEコマース向けにオリジナル商品を開発しプリキュアワゴンショップを展開するなど、約1,100アイテム以上が商品化されています。



タッチコミュニケーション
37万個突破

ハートフルコミュニケーション
62万個突破

プリキュアワゴンショップ
オリジナル商品を展開中

より多くのメディアへ メディア展開

今冬に映画第2弾を公開。
メディア展開が拡大しています。

プリキュアの人気は、テレビからはじまり、さまざまなメディアに広がっています。販売が好調なDVDや、異例のヒットとなったファンブック、携帯電話への着メロ・待受画面の配信やインターネットを利用した知育コンテンツ「あそんでプリキュア」、さらに今年4月には満を持して公開し、大ヒットを記録した劇場作品など多岐にわたります。今年12月には早くも映画第2弾を公開するなど、今後もさまざまなメディアへ展開し活躍の場を広げていきます。



「映画ふたりはプリキュアMaxHeart2 雪空のともだち」12月10日
ハッピー・ラプリー・ロードショー

日本から世界へ 海外展開

ヨーロッパ、アジアに上陸。
今後もさらに拡大を目指します。

日本国内で社会現象とも言える絶大な人気を誇るプリキュアは、ついに海を渡り海外での放送を開始しました。9月から放送を開始したドイツを皮切りに、10月にイタリア、12月には台湾と韓国でも放送が開始しました。現地での人気も好調に推移し、確かな手応えを得ることができました。今後も、日本のプリキュアから世界のプリキュアへ、積極的に海外展開を推進していきます。



いよいよ海外展開開始

プリキュア 大ヒットの歴史

平成16年2月1日放送開始



- 放送直後、女の子だけでなく男の子にも大人気
- カードコミュニケーションの売切れ店続出
- 4-6歳の女の子を対象とした視聴率で58.0%の高記録

平成17年2月6日圧倒的人气で2年目放送開始



- カードコミュニケーションとプリティコミュニケーションが平成16年年間おもちゃ売上1、2位を独占
- 東京国際アニメフェアのアニメアワード優秀作品賞受賞
- ハートフルコミュニケーション、前年以上のヒット

平成17年4月16日劇場公開



- 映画第1弾大ヒット!
- 最高記録更新!4-6歳の女の子を対象とした視聴率62.5%
- 9月のドイツを皮切りに、いよいよ海外展開開始
- 12月に映画第2弾を公開

3シーズン目の放送決定

「時代を超えて愛され続ける東映アニメの名作たち」

半世紀近い東映アニメーションのあゆみにおいて、いくつもの名作が生まれてきました。それらの作品は、世代を変え、メディアを変え、かたちを変えた今でも、たくさんの方々に愛され続けています。

「ドラゴンボール」シリーズ

年代を超え、今もなお世界中で愛され続けている金字塔

放映当時

TVアニメーション「ドラゴンボールシリーズ」は、鳥山明氏の漫画を原作とするアニメーションで、昭和61年から平成9年の11年間にわたって全508話が放送されたメガヒットアニメーションです。その人気は非常に高く、TVシリーズの「ドラゴンボールZ」の放送終了にあたって、原作漫画にはないアニメオリジナルのストーリー「ドラゴンボールGT」を製作したほどでした。また劇場アニメは17作品を製作・公開し、これも大ヒットを記録しました。この人気は日本だけにとどまらず、世界40カ国以上で放送され、フランスなどでは劇場公開もされるなど、世界規模で驚異的な人気を誇っています。

現在

放送終了から5年後の平成14年、ついにドラゴンボールが再び動き始めました。「ドラゴンボールZ」の再放送は夕方にもかかわらず高視聴率を記録、10万円のDVD-BOX①は約32,000セットを完売、原作漫画の新装版コミックスも大ヒット、TVゲームは全世界で200万本を超える販売を記録するなど、昔見ていた大人だけでなく、今の子どもたちの間でも大人気になりました。その後もDVD-BOX、TVゲーム、カードゲームと大ヒットを記録し続けています。海外においても、アメリカでノーカットバージョンが放送され、高視聴率を記録しているなど、人気は世界規模で盛り上がっています。



「ドラゴンボール」(全153話)



「ドラゴンボールZ」(全291話)



「ドラゴンボールGT」
再放送(H14~) 月15:00~フジテレビ



「DBGT DVD-BOX」
¥50,000 約58,500セット完売



TVゲーム
「ドラゴンボールZ Sparking」
10/6発売



「ドラゴンボールZ」
北米 ノーカットバージョン
土19:30~ Cartoon Net



「ドラゴンボールGT」(全64話)



「劇場版」(全17作)
「TVSP」(全3作)

「ガイキング」シリーズ

斬新なデザインが話題のスーパーロボットアニメの復活

メインメカである“大空魔竜”と“ガイキング”の独特なデザインとストーリーで話題となった「大空魔竜ガイキング」が30年ぶりの復活です。「マシンガーZ」で一世を風靡し、ロボットアニメの一時代を築いた東映アニメの約14年ぶりのロボットアニメです。

放映当時



「大空魔竜ガイキング」
S51/4~S52/1 全44話



現在



「ガイキング」
土10:50~ テレビ朝日

「銀河鉄道999」シリーズ

不朽の名作。ついにジェットコースターで登場

昭和50年代のSFブームの代表的な作品で、テレビ・映画とも大ヒットしました。平成10年に新作映画を公開、平成14年にはFlashアニメになるなど、人気は依然として高く、平成17年には屋内ジェットコースターとして登場し、話題を集めています。

放映当時



「銀河鉄道999」
S53/9~S56/3 全113話



現在



「GALAXY EXPRESS 999」
品川プリンスホテル

「聖闘士星矢」シリーズ

少年達の伝説再び。ファン待望の新シリーズ登場

男の子のみならず、美形キャラが女の子にも人気だった「聖闘士星矢」。その人気は衰えることなく、平成14年「ハーデス十二宮編」、16年「天界編」、そして今回の「ハーデス冥界編」へと続いています。海外でも大ヒットし、今でも高い人気を誇っています。

放映当時



「聖闘士星矢」
S61/10~S64/4 全114話



現在



「聖闘士星矢 冥王ハーデス冥界編 前章」
スカイパーフェクTV! 12/17~

「一休さん」

国民的アニメーション。中国でも人気

「この橋渡るべからず」「虎退治」などの“とんち”で有名な国民的なアニメです。11月から東映アニメBBにてインターネット配信を再開しています。海外ではアジア圏に強く、今冬から中国で開始する携帯電話の待受サービスでも主力タイトルとなっています。

放映当時



「一休さん」
S50/10~S57/6 全296話



現在



中国携帯サービス

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (平成17年9月30日現在)

資産の部	
科目	金額
流動資産	20,006,582
現金及び預金	14,669,707
受取手形及び売掛金	3,529,644
たな卸資産	1,131,596
繰延税金資産	110,737
その他	578,517
貸倒引当金	△13,620
固定資産	11,148,408
有形固定資産	3,294,904
建物及び構築物	989,681
土地	2,153,114
その他	152,108
無形固定資産	357,996
投資その他の資産	7,495,506
投資有価証券	7,268,826
繰延税金資産	8,229
その他	273,648
貸倒引当金	△55,198
資産合計	31,154,991

(注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 821,825千円

(単位:千円)

負債の部	
科目	金額
流動負債	4,999,250
支払手形及び買掛金	3,012,679
未払法人税等	880,673
賞与引当金	195,306
その他	910,591
固定負債	1,339,228
退職給付引当金	498,430
役員退職慰労引当金	170,830
繰延税金負債	662,382
その他	7,584
負債合計	6,338,479
少数株主持分	
少数株主持分	295,250
資本の部	
資本金	2,867,575
資本剰余金	3,409,575
利益剰余金	16,785,497
その他有価証券評価差額金	1,520,529
為替換算調整勘定	△58,514
自己株式	△3,400
資本合計	24,521,261
負債、少数株主持分及び資本合計	31,154,991

中間連結損益計算書 (平成17年4月1日から平成17年9月30日まで) (単位:千円)

科目	金額
売上高	11,149,833
売上原価	7,323,562
売上総利益	3,826,270
販売費及び一般管理費	1,390,138
営業利益	2,436,132
営業外収益	177,116
受取利息	8,674
受取配当金	27,488
持分法による投資利益	89,680
為替差益	35,547
その他	15,726
営業外費用	3,042
支払利息	83
たな卸減耗損	2,949
その他	10
経常利益	2,610,206
特別損失	37,934
固定資産除却損	25,161
減損損失	11,442
貸倒引当金繰入額	1,330
税金等調整前中間純利益	2,572,272
法人税、住民税及び事業税	908,906
少数株主利益	19,280
中間純利益	1,644,084

(注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり中間純利益 236円34銭

中間連結剰余金計算書 (平成17年4月1日から平成17年9月30日まで) (単位:千円)

科目	金額
資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	3,409,575
資本剰余金中間期末残高	3,409,575
利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	15,400,211
利益剰余金増加高	1,644,084
中間純利益	1,644,084
利益剰余金減少高	258,798
配当金	209,998
役員賞与	48,800
(内監査役賞与)	(2,600)
利益剰余金中間期末残高	16,785,497

中間連結キャッシュフロー計算書 (平成17年4月1日から平成17年9月30日まで) (単位:千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,481,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	80,468
現金及び現金同等物の増減額	2,207,772
現金及び現金同等物の期首残高	12,461,934
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,669,707

中間単体財務諸表

中間貸借対照表 (平成17年9月30日現在)

資産の部	
科目	金額
流動資産	18,238,800
現金及び預金	13,159,590
受取手形	46,877
売掛金	3,319,695
たな卸資産	1,039,079
繰延税金資産	100,999
その他	588,291
貸倒引当金	△15,733
固定資産	9,369,074
有形固定資産	3,024,365
建物	781,827
土地	2,153,114
その他	89,423
無形固定資産	357,890
投資その他の資産	5,986,818
投資有価証券	5,718,216
長期貸付金	75,214
その他	246,636
貸倒引当金	△53,248
資産合計	27,607,875

- (注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
 2. 子会社に対する短期金銭債権 585,041千円
 子会社に対する長期金銭債権 61,027千円
 子会社に対する短期金銭債務 135,813千円
 3. 有形固定資産の減価償却累計額 698,250千円
 4. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額 1,294,474千円

(単位:千円)

負債の部	
科目	金額
流動負債	4,487,892
支払手形	182,032
買掛金	2,476,367
未払金	149,231
未払法人税等	847,406
前受金	346,785
預り金	237,834
賞与引当金	166,667
その他	81,567
固定負債	1,125,181
退職給付引当金	471,691
役員退職慰労引当金	170,830
繰延税金負債	475,075
その他	7,584
負債合計	5,613,074
資本の部	
資本金	2,867,575
資本剰余金	3,409,575
資本準備金	3,409,575
利益剰余金	14,423,405
利益準備金	94,500
任意積立金	3,200,000
中間未処分利益	11,128,905
その他有価証券評価差額金	1,294,474
自己株式	△228
資本合計	21,994,801
負債及び資本合計	27,607,875

中間損益計算書 (平成17年4月1日から平成17年9月30日まで) (単位:千円)

科目	金額
売上高	10,574,803
売上原価	7,228,930
売上総利益	3,345,872
販売費及び一般管理費	1,147,668
営業利益	2,198,204
営業外収益	79,171
営業外費用	3,042
経常利益	2,274,333
特別損失	37,934
税引前中間純利益	2,236,398
法人税、住民税及び事業税	845,853
中間純利益	1,390,545
前期繰越利益	9,738,360
中間未処分利益	11,128,905

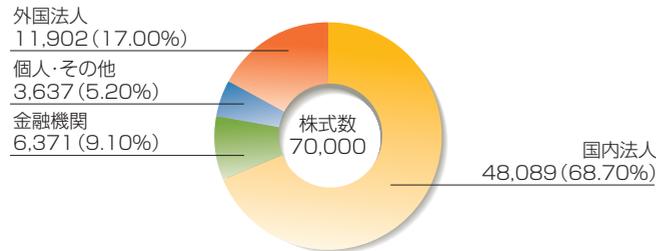
- (注) 1. 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。
 2. 子会社との取引高
 売上高 429,499千円
 仕入高 238,966千円
 営業取引以外の取引高 525千円
 3. 1株当たり中間純利益 198円65銭

株式の状況 / 会社概要

株式の状況 (平成17年9月30日現在)

発行済株式総数	7,000,000株
株主数	978名

所有者別株式分布状況(百株) (平成17年9月30日現在)



株価・出来高の推移



会社概要 (平成17年9月30日現在)

商号 東映アニメーション株式会社
 英文社名 TOEI ANIMATION CO., LTD.
 本社 〒178-8567 東京都練馬区東大泉二丁目10番5号
 TEL 03-3978-3111 (代表)
 新宿オフィス 〒162-0831 東京都新宿区横寺町58番地
 東映アニメーション研究所 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目
 2番5号 駿河台ビル
 従業員数 267名
 上場市場 JASDAQ (コード:4816)
 ホームページ <http://www.toei-anim.co.jp>

株式事務のご案内

商号 東映アニメーション株式会社
 証券コード 4816
 決算期 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
 基準日 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめご
 告知いたします。
 利益配当金 毎年3月31日現在の株主または登録質権者にお支払い
 いたします。
 名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社
 同事務取扱所 (お問い合わせ 証券代行部)
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 (03) 3323-7111 (代表)
 同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
 公告方法 日本経済新聞に掲載いたします。
 貸借対照表および損益計算書掲載の
 ホームページアドレス <http://www.toei-anim.co.jp/corporate/ir/>

お知らせ
 住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各
 用紙のご請求は名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間
 受付しております。

著作権表示 ©ABC・2005映画ふたりはプリキュアMH製作委員会・2005映画ふたりはプリキュアMH2製作委員会・尾田栄一郎・集英社・フジテレビ・雷句誠・
 小学館・VisualArt's・Key・フロンティアワークス・パードスタジオ・テレビ朝日・車田正美・松本零士・武内直子・PNP・高橋しん・2006「最終兵器彼女」製作委員会・「2006 ワンピース」製作委員会・東映アニメーション

株主優待オリジナル「キャラクターQUOカード」を進呈

— 2005年からさらに充実しました。 —

- 絵柄は、子ども達に人気の新作アニメーション2種類、なつかしの名作アニメーション2種類(各500円)を1セットにいたしました。
- 新作アニメーションにつきましては、株主優待限定の描き下ろしのデザインにいたしました。
- 進呈基準に500株以上を追加いたしました。

所有株式数	優待内容
100株以上	1セット(2,000円相当)
500株以上	2セット(4,000円相当)
1,000株以上	3セット(6,000円相当)
5,000株以上	5セット(10,000円相当)
10,000株以上	10セット(20,000円相当)

2005年進呈



わんぱく王子の大蛇退治
 アラビアンナイト シンドバッドの冒険
 ワンピース



ふたりはプリキュア MaxHeart

2004年進呈



少年猿飛佐助
 ふたりはプリキュア

2003年進呈



安寿と厨子王丸
 明日のナージャ

2002年進呈



西遊記
 セーラームーンワールド

最新の情報は当社IRページで

当社では適時情報開示を目的としてIRページを開設しております。決算説明会の映像や詳細な定量データなど、日々情報の充実に努めております。また、IR情報およびプレスリリースのメール配信の登録/削除を受け付けております。

<http://www.toei-anim.co.jp/corporate/ir/>



MOVIE LINE UP

東映アニメーション株式会社 劇場公開予定作品



「映画 ふたりはプリキュアMaxHeart2 雪空のともだち」

平成17年12月10日公開



「最終兵器彼女」

平成18年1月28日公開予定



「ワンピース THE MOVIE カラクリ城のメカ巨兵」

平成18年3月4日公開予定